2019

大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク
2019年度活動報告書

Dai Nagoya University Network
ANNUAL REPORT
2019

ナゴヤを舞台に、
発見と創造で、
一人ひとりの世界を変える

2009年に開校した「大ナゴヤ大学」に関わってきた一人ひとりから、多くの活動やプロジェクトが生まれてきました。

その一つひとつのつながりを見せていきたいと思い、2019年度の報告書から、大ナゴヤ大学の活動だけではなく、「NPO法人大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク」全体の報告書としてまとめ直しました。

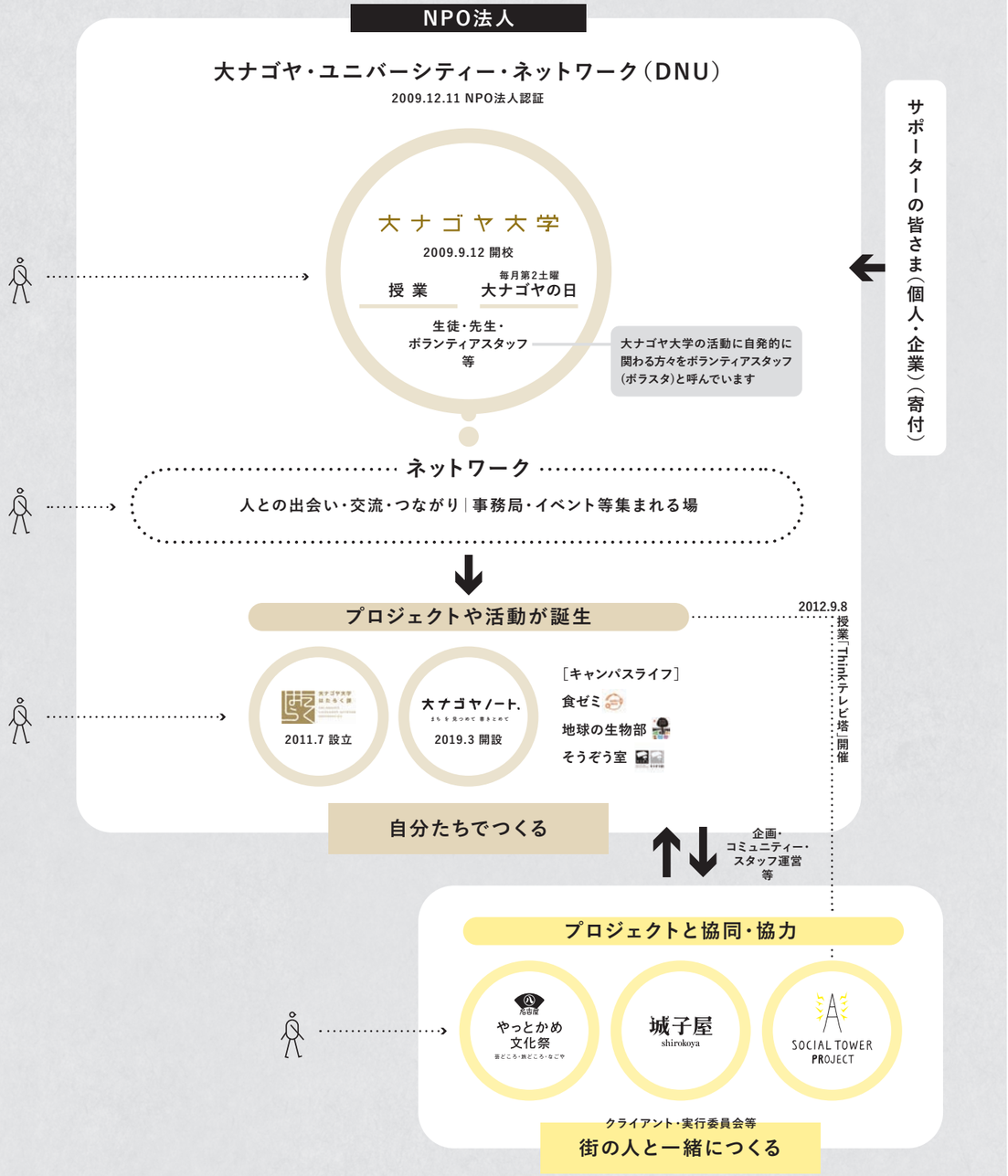
大ナゴヤ大学は、「街」と「学び」を掛け合わせて生まれたプロジェクト。つねに何かを生み出し続けている街は、面白い人の宝庫です。そんな人たちとの出会いを通じて、自分の中にすでにあった「未来の可能性」を見つけ、考えを変え、行動を変えていく。

自分の「学びたいを学ぶ」場をつくる。
街を面白くしたい仲間と、活動やプロジェクトを立ち上げる。
学び続けることで、一人ひとりの見えている世界が変わる。
この積み重ねが、やがて街や社会を形つくっていくのではないでしょうか。

一人ひとりがこの街の主役です。
「あなたがいれば、街が変わる」

ひとりの想いを大切に、これからも場をつくり続けていきます。

NPO法人
大ナゴヤ・
ユニバーシティー・
ネットワークの全体像



大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク
2019年度活動報告書

Dai Nagoya University Network
ANNUAL REPORT
2019

もくじ

05　自分たちでつくる
　　大ナゴヤ大学
　　はたらく課
　　大ナゴヤノート.
14　ボラスタインタビュー ワタシの気づき、変化
16　街の人と一緒につくる
　　やっとかめ文化祭
　　城子屋
　　ソーシャルタワープロジェクト
18　DNU理事より
19　財務報告

自分たちでつくる

ナゴヤの街をフィールドに、人と人とが学び、つながる。
世代も職業も違う多様なメンバーが、
ボラスタやコーディネーターやエディターとなって
主体的につくり上げている事業がいくつもあります。

大ナゴヤ大学

はたらく課
大ナゴヤ大学
はたらく課
DAI-NAGOYA UNIVERSITY NETWORK HATARAKU-KA

大ナゴヤノート.
まちを見つめて書きとめて

About

大ナゴヤ大学

誰でも先生、誰でも生徒。教材は街にあふれている

大ナゴヤ大学には校舎がありません。魅力的なヒト、モノ、コトがある場所が教室です。伝統工芸、地元食材、祭り、多様な暮らし方や働き方、知る人ぞ知るスポット、唯一無二の技術を持つ職人さんや、ニッチな分野の物知りさん。授業のテーマは多種多彩です。フィールドは東海圏各地。新しい教室を探し続けています。

授業をきっかけに暮らしや生き方が変わるかも

魅力的なヒト、モノ、コトと出会う経験は、暮らしや生き方を見つめなおすきっかけにもなります。先生や生徒たちの間で価値観の交わりが生まれ、互いの違いを楽しみ、自分の外側にある興味に気づける。授業に参加して、転職や移住などの挑戦に踏み切った人もいました。学びの場での出会いが私たちの生活に変化を与えてくれます。

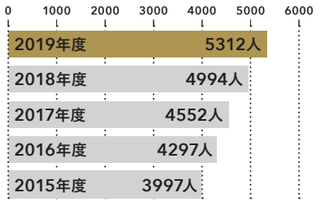
今までできなかった「やってみたい」を実現できる場所

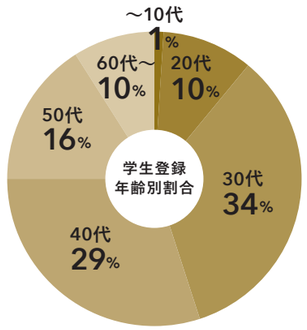
「やってみたいことがあるけれど、動き出し方が分からない…」という人も一歩踏み出せるチャンスが大ナゴヤ大学にはあふれています。生徒、ボラスタ、授業コーディネーターとして、仲間とともにゼミや部活動、街のイベントに関わる中で、チャレンジしたくなる瞬間がやってくる。なりたい自分に近づける場所です。

「大ナゴヤ大学」では「授業」という学び合いのコンテンツを提供しています

誰でも生徒 学生登録数 **5,312人**

学生登録数推移





街じゅうがキャンパス 教室 **345カ所**

街にいるあの人！ 先生 **604人**

「面白がる視点」で授業づくり 授業コーディネーター **80人**

垣根なく集まっています ボラスタ **268人**

※2019年3月末現在

2019年度実績

年間授業総数 **49コマ**
2017年度：35コマ
2018年度：53コマ

のべ授業参加者数 **574人**
2017年度：442人
2018年度：825人

PICK UP

しめ縄づくり ～恵那坂折棚田で育った古代米とともに年の瀬の支度～

◎開催日時｜2019年12月14日（土）13時～15時30分　◎教室｜医王山 神宮寺
◎先生｜おいでん水田の皆さん　◎授業コーディネーター｜ひとみん

正月飾りの「しめ縄」づくりに挑戦。棚田で丹精込めてつくられた稲わらと思い思い持参した素材を組み合わせ、一生懸命手を動かしました。最後は神宮寺さんに御祈祷いただき、日本の古き良き伝統を学びました。

「きぼうのいちご」を収穫しよう！ ～自然栽培って何？美味しいって何？～

◎開催日時｜2020年1月11日（土）10時30分～12時　◎教室｜美岳小屋
◎先生｜林 剛　◎授業コーディネーター｜山田卓哉

いちごの自然栽培に挑戦する美岳小屋さんで、収穫体験を行いました。いちごにとって過酷な環境である自然栽培に挑戦する先生の想いに触れ、普段何気なく口にする食物の「美味しい」の裏側にクローズアップしました。

“ブーム”はどこからやってくる？ 映画の周辺にいる人たちと「インド映画」について語り合おう

◎開催日時｜2020年3月14日（土）13時～15時30分　◎教室｜HORIE BLDG（2F）Gallery NA2
◎先生｜伊藤 憲子（アニメーター）、坪井 篤史（シネマスコーレ副支配人）　◎授業コーディネーター｜いとうえん

いつの間にか訪れ、去っていく“ブーム”について、じっくりと考えてみました。テーマに選んだのは、熱狂的ファンも多い「インド映画」。授業では、先生方の濃厚なトークと生徒さん同士の熱い議論が展開されました。

これまでの授業レポートが見られます！「大ナゴヤ大学」のWebサイトへ

サポーターについて

「寄付」で成り立つ「大ナゴヤの日」をスタート

毎月第2土曜
大ナゴヤの日
授業無料体験

2019年から「大ナゴヤの日」を始めました。ヒト、モノ、コトとの出会いから気づきや発見が生まれる大ナゴヤ大学の学びの場へ気軽に足を運べるように、そして、もっと多様な出会いが偶発的に生まれるように。毎月第2土曜日に多分野の授業が開催される一日をつくってきました。老若男女誰でも、ご家族での参加もできるよう、参加費はいただかない、事前準備は要らない等の工夫を凝らした場づくりを続けていきます。

＊当日の飲食代や材料費などの実費は各自ご負担いただいております。＊8月は「夏休み」として「大ナゴヤの日」はお休みです。

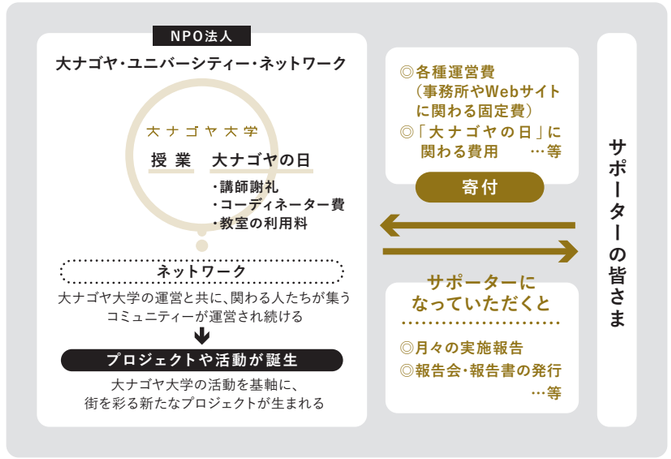
寄付の仕組み

サポーターの皆さまからいただいた寄付金は、事務所家賃・サーバー費・電話代、授業における講師謝礼等に充てさせていただきました。

サポーター費用

年間サポート
500円／月
1,000円／月
2,000円／月

ワンタイムサポート
指定なし



これから

「大ナゴヤの日」の運営を安定させるために、引き続きサポーターの皆さまのご協力を募らせていただきます。より多様な方にサポーターになっていただけることで、私たちの手がける学びの場づくりの領域も広がっていくでしょう。さらに、皆さまのご支援、ご期待は、私たちの事業が社会に必要とされている証です。2020年はサポーターの仕組みを見直しつつ、まずはサポーター100名到達を目指してお声がけや情報発信をしていきます。

キャンパスライフ

大ナゴヤ大学にはテーマに沿った自主的な活動があります。

食ゼミ

Webサイトへ

大ナゴヤ大学の通常講座「マルシェ・ジャポンでカービング体験」に参加した生徒からの声で2010年3月に結成された食ゼミ。農業、調理、社会見学など、メンバー各自が興味のある分野で活動しています。2019年にはサムゲタンやキッシュ、チーズケーキづくりなど、調理室での料理教室をはじめ、お茶摘み授業、しいたけ栽培の勉強会など、アウトドア授業にも挑戦しました。食ゼミ結成以来、「大ナゴヤキッチン」の開催が90回を越えましたが、授業内容はますます広がりを見せています。2020年は、結成11年目を迎え、メンバーがそれぞれの得意分野で食ゼミを盛り上げていきます！

地球の生物部

facebookページへ

「地球の生物部」は街の一角にある植栽スペースで、毎月第1木曜日・朝8時から1時間ほど、花植えや、草取り、水やりをしたりと植物のお世話をしています。私たちが活動している庭は名古屋市からお借りしている公共空間です。行政が管理する場所ですが、自分たちで楽しく手入れをしたいという人たちが集い活動することで、街で身近に自然を感じるほか、自分の街にも関心をもってもらうきっかけの場をつくっています。

◎生物庭手入れ：第１木曜日8:00～9:00頃（自由参加）
◎生物庭の場所：地下鉄矢場町駅4番出口を南へ。若宮大通久屋 交差点付近

そうぞう室

Webサイトへ

そうぞう室は、「ナゴヤの視野を5°広げる」をコンセプトに、モノをつくる創造力と、考えや思いをめぐらす想像力を育てていくことを目的とした研究室です。2019年度は、タイ料理を提供している餃子の王将でタイフェスを開催したり、郡上八幡でマイ下駄をつくるワークショップを開催したり、そうぞう室メンバー主催の昼飲みスナックをオープンしたりしました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、後半は自粛をしたイベントもありますが、今後も少しだけ視野が広がるような楽しい会を企画できればと考えております。イベントメインのそうぞう室としましては今年度は更なるチャレンジもしていかないとですね！

新しい活動が誕生！

郡上大和酒づくり研究会

授業レポートへ

岐阜県郡上市大和にある酒蔵で、仕込水・かもす杜氏、そして酒米も郡上産で“メイドイン・オールグジョー”な日本酒に携わるチームです。

About

大ナゴヤ大学 はたらく課
DAI-NAGOYA UNIVERSITY NETWORK HATARAKU-KA

― はたらく課 ―

コンセプトは「そんな“はたらく”との出会い」

出会いと聞くと人との出会いを思い浮かべるかもしれませんが、出会いには〔めぐりあい〕という意味もあります。今まで知らなかった働き方を知り、様々な職業を知り、多様な人となりを知る。色んな“はたらく”を知っていくことで、今後の生き方を左右する何かとめぐりあうかもしれません。ここ大ナゴヤ圏にも実に多くの“はたらく”があります。どんな働き方があるのか、どんな生き方があるのか。はたらく課は、そこにスポットをあて、出会いをつくっています。

◎運営
2011年に、大ナゴヤ大学のボラスタが有志で集まり立ち上げた活動です。
原則月1回定例ミーティング開催しています。

「はたらく課」の2つのコンテンツ

求人記事

“はたらく”との出会いの場を、求人記事という形でつくっています。「記者が職場に入り込む」イメージで、現場の生の声を聞いて、ありのままの“はたらく”を紹介するを大事にしながら記事をつくっています。

掲載記事数 8本
応募者数 22人

はたらくイベント

“はたらく”との出会いの場をつくるため、気軽にいろいろな職業の人と出会える「しごとバー名古屋」と、はたらくとは何かを考える「ハタラクデアイ」を企画・運営しています。

しごとバー名古屋 開会回数 9回
ハタラクデアイ 開会回数 1回

2019年度実績

PICK UP

求人記事

関市役所

まちのメインストリートに新たなにぎわいを生む。岐阜県関市でまちづくりをリードするキーマンに。

PICK UP

はたらくイベント

しごとバー名古屋
日本ワインが好き。「塩尻」と「名古屋」の2拠点ではたらくナイト

●ゲスト
横山暁一さん
（パーソルキャリア株式会社・塩尻市地域おこし協力隊）

（株）木曽三川電力 みのかも

「電力」×「まちづくり」。まちの未来を明るく変える電力の仕組みを作り上げる。美濃加茂市から木曽三川流域へ広める、新しい電気の価値。

しごとバー名古屋
農家のあり方を考えナイト

●ゲスト
北沢毅さん
（フルーツガーデン北沢の4代目）

（合）カモケンラボ

美濃加茂の魅力発信、観光ツーリズムの企画、最先端技術による学びの場。里山から始める希望のまちづくり。

ハタラクデアイvol.08
変革はローカルから。暮らし方改革
～3日ツトメて2日ジブン事“OPEN INABU”「やさしい生活」を提案する“ヒトトキ”～

●ゲスト
横田幸史朗さん（トヨタケ工業（株）社長・OPEN INABU実行委員会代表）、松島周平さん（家具職人）

これまでの記事やイベントが見られます！「はたらく課」のWebサイトへ

About

大ナゴヤノート.

まち を 見つめて 書きとめて

まちを見つめて 書きとめて

「大ナゴヤノート.」は、2019年3月にスタートしたメディアです。まちで「いいな」「面白いな」と思ったヒト、モノ、コトを、感じたままに素直な言葉で記事にしてみる。十人十色の目線を通して、まちを少しだけじっくり見つめてみる楽しさを伝えています。

「大ナゴヤノート.」の2つのコンテンツ

ノート.

編集者たちがまちを各々の目線で切り取って書きとめた記事です。書き手の「いいな」に共感したり、新しいまちの見方を見つけたり。あなたの気になるページをめくってみてください。

オープンノート.

「ノート.」の編集者たちがしているように、あなたの目線でまちを見つめに出かけてみましょう。同じ場所をめぐり、一人ひとりが見つけたものを共有できる機会もつくっています。

誰でもエディターに挑戦できる	「大ナゴヤノート.」のメンバーは全員がエディター（編集者）。テーマを決め、取材し、構成を考え、文章にする。記事を書いたことのない人も挑戦できます。
ウェブメディアであり学びのコミュニティー	編集会議では、お互いの書いた記事について、率直で忌憚のない意見を交わしています。真剣なやりとりを通して学び合いが生まれる場です。
隔週更新で多彩な記事をアップ	隔週水曜日18時に最新記事を公開しています。

2019年度実績

ノート. 掲載記事数 36本

「ノート.」はどれも、エディターの個性と興味が反映されたものばかりです。例えば、まちへ繰り出す「まちあるき」の記事。4月の中日ビル閉館にあたっては、3人のエディターが別々の視点で記事を制作しました。まちの魅力的な人に取材した記事、「瓦」「観音」などエディターが愛してやまないテーマを取り上げた記事等、多種多彩なまちの見つめ方をご紹介しています。

「ノート.」と「オープンノート.」の連動企画

ノート.で取り上げた場所へ実際に出かけてみるオープンノート.を実施しました。例えば、5月に改元をテーマに掲載した、大須商店街で元号を探すまちあるきの記事がきっかけとなり、商店街で写真を撮りながらしりとりをしてみるという企画が誕生しました。

まちについて書く人を増やしたい！編集講座も開催

大ナゴヤ大学の授業として、「『大ナゴヤノート.』的編集の教室」を2回開催しました。ライターの仕事やウェブメディアの編集に興味のある人に多数ご参加いただきました。ライター講座からエディターに参加した人も。今後も開催予定です。

これまでの記事やイベントが見られます！「大ナゴヤノート.」へ

ボラスタインタビュー

ワタシの気づき、変化

大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワークの様々な場面で活躍する人たちにお話を聞いてみました。それぞれにどんな変化や気づきが訪れたのでしょう。

Q1. 活動を通して、どんな「気づき」がありましたか？
Q2. あなたの「暮らし」「考え方」「行動」に起きた変化は？
Q3. これからどんな活動をしていきたいですか？

ちぃちゃんさん

ちぃちゃんさんの歩み @DNU
2018.12 大ナゴヤ大学ボラスタデビュー
2019.4 Meetup！を主催
2019.9 生徒として大ナゴヤ大学授業に初参加
事務局業務にも携わる
2020.2 オープンキャンパス、noteで
ボラスタを紹介する企画のメンバーとなる

誰でも長く関われる場づくりがしたい

A1. 大ナゴヤ大学に興味のある人がボラスタさんと交流できる「Meetup!」の企画運営に携わっています。メンバーの意見をどうまとめるか考えをめぐらせる時もあり、仕事とは違うチームでの活動の難しさを知りました。今あるものをより良くするために真剣になるからこその楽しさも味わっています。

A2. これまで得られなかった情報が入ってくるようになりました。酒米づくりの田植えなど初めての体験もたくさん。大ナゴヤ大学に関わったのをきっかけに、プロボノにも挑戦できました。

A3. 新しいことを見つけたい人には、選択肢のひとつとして、大ナゴヤ大学を知ってもらいたいです。そのためにも初参加でも気軽に、そして継続的に関わってもらえる場や仕組みをつくりたいと思っています。

てつさん

てつさんの歩み @DNU
2017.10 生徒として大ナゴヤ大学授業に初参加
やっとかめ大使デビュー
2018.3 MEETS TONO*ボラスタデビュー
2018.6 大ナゴヤ大学ボラスタデビュー

*MEETS TONO＝DNUがボラスタ運営で協力した
東濃エリアの魅力発信イベント

未知の世界への好奇心が湧いてくる

A1. 私は、あえて自分が興味のないテーマの授業やイベントに参加してきました。「やっとかめ大使*」に応募したのも、文化事業にはずっと無関心だったからこそ。参加するごとに新しい発見や気づきがあります。知らない世界があるのはもったいない！

A2. 大ナゴヤ大学で出会う人は、誰一人として似ていない個性的な人ばかりです。職場では得られない多様な人との関わりの中で、自分を客観的に見られるようになったと思います。それから、スポーツや農業など、これまで以上に新しい領域のボランティアにも参加するようになりました。

A3. 大ナゴヤ大学は、世界を広げてくれる場所です。そこがこれからもあり続けられるように、自分にできることをお手伝いしていきます。

*やっとかめ大使＝「やっとかめ文化祭」の運営をサポートするボラスタの名称

「面白い」を見つける感性が磨かれる

A1. 大ナゴヤの活動に参加していると、たくさんの「面白い」に出会えます。関わる人たちも、取り上げられるテーマやスポットも、とにかく面白い。大ナゴヤ圏は、よく「何もない」と言われますよね。私もつい口にしてしまいます。でも視野を狭めていたのは、他でもない私自身だったんです。

A2. いろいろ面白がっているうちにボラスタ、エディター、授業コーディネーターと、気づけばどんどん活動の幅が広がりました（笑）。単に面白がるだけでなく、誰かに伝えたいという気持ちが高まったからでしょうね。せっかく見つけた「面白い」を、独り占めするのはもったいないですもの。レポートや記事を書くのも、授業をつくるのも、伝える手段。どれも手を抜けません。

A3. この先めぐりあう「面白い」を受け止め、伝えられる感性を育てていきます。それが、たくさんの人の「面白い」との出会いにもつながるでしょうから。

いとうえんさん

いとうえんさんの歩み @DNU
2018.6 生徒として大ナゴヤ大学授業に初参加
その日のうちにボラスタ登録
2018.8 大ナゴヤ大学ボラスタデビュー
2018.9 大ナゴヤノート.の立ち上げに携わる
2019.3 大ナゴヤノート.のエディターとなる
2020.2 授業コーディネーターデビュー

ワクワクさせてくれる仲間とのご縁を大切に

A1. 大ナゴヤ大学の場では、学歴や職業、出身地に関する話題はあまり聞かないです。私自身もその人の関心事や興味を聞くことの方がワクワクします。それが授業のテーマにつながることも多々あります。人って、必ずなにか特別なものを持っているんですよ。

A2. 旅行の仕方が変わりました。以前は、ガイドブック片手に観光地をめぐっていましたが、街の人との会話から目的地を決めるようになりました。地域の方に積極的に話しかけます。人こそ街の魅力ですね。

A3. 10年関わってきましたが、常に「これがしたい！」は、ありません。けれども、大ナゴヤ大学を通じて得た人とのご縁は大事にしていきたいです。生徒さんが心地よく授業を楽しめるような場づくりを心がけたいです。

ひとみんさん

ひとみんさんの歩み @DNU
2009.10 生徒として大ナゴヤ大学授業に初参加
2010.2 大ナゴヤ大学ボラスタデビュー
2012.6 活動報告書の編集に携わる
2013.2 大ナゴヤ大学インターンシップ生の
研修担当を担う
2019.5 授業コーディネーターデビュー

街の人と一緒につくる

大ナゴヤ大学が培ってきた、

街の魅力を掘り起こして場をつくる力、多様な人と人をつなげる力。

それらを必要としてくださる人たちと一緒に、

新たな事業も生み出し、育て続けています。

やっとかめ文化祭
芸どころ・旅どころ・なごや

城子屋
shirokoya

SOCIAL TOWER PROJECT

About

芸どころ・旅どころ・なごや
やっとかめ文化祭

名古屋の歴史・文化と出会う

Webサイトへ

2019年で7年目を迎えた「やっとかめ文化祭」は、長い歴史の中で育まれてきた名古屋の魅力を一堂に集めた、都市文化の祭典です。2014年に「やっとかめ大使」のコーディネートから関わりはじめ、2015年には実行委員会（名古屋市、中日新聞などで構成）のメンバーとなりました。現在は、まち歩きなごやの企画・運営、事務局を担いながら、日々名古屋について学んでいます。

城子屋 shirokoya

名古屋城を学びの場に

名古屋城を、かつての「寺子屋」のように地域に開かれた学びの場とするプロジェクトです。400年前、名古屋の街が形づくられる上で重要な役割を果たした名古屋城。建築、土木、食、芸能など多彩なテーマと城を掛け合わせた特徴的なプログラムを企画していきます。2019年度は、城子屋の本格始動に向けたプレ企画として、本丸御殿にまつわるふたつの講座を、名古屋城と連携して実施しました。

SOCIAL TOWER PROJECT

名古屋にも「新しいかたちの社交場を」

Webサイトへ

2012年にテレビ塔とその下に広がる公園でスタートした「SOCIAL TOWER MARKET」は8回目となる2019年、会場を名古屋城に移して開催し多くの方にお越しいただくことができました。ありがとうございました！現在、ホームだった名古屋テレビ塔と久屋大通公園は大掛かりな改修工事の真っ最中。名古屋城と新しいテレビ塔、二つの愛着ある場所をこれからも皆さんと一緒に盛り上げていくことができれば幸いです！

一人ひとりが関わってよかったと思える活動に

理事長
大野 嵩明

大ナゴヤ大学は、2019年9月に10周年を迎え、法人としては11期を終えました。法人全体としても、どんな在り方がいいのかを問い直し、まずは2019年度の報告書から変えていくことにしました。その過程の中で、大ナゴヤの活動の中心はどこにあるのかという問いを立てたときに出てきた答えは、一人ひとりの顔の見える関係性のコミュニティーでした。大ナゴヤに関わってよかったと、一人ひとりに感じてもらえる活動にしていきます。この活動を安定的に続けていくために、引き続きお力をお貸しください。これからも、よろしくお願いします。

変化の多い世の中のヒントを見つける

理事・大ナゴヤ大学学長
山田 卓哉

この一年、これまで当たり前とされていたことが特別になったり、非日常に変わるということを改めて気づかされる瞬間が多く、私たちの活動のこれからを問われているような気がしました。大ナゴヤのつくる学びの場は様々な価値観と出会える場所です。出会いは世界を広げ、視点を変えるキッカケになる。誰かにとってはチャレンジが生まれ、孤独を癒す処方箋にもなると信じています。この変化の多い世の中でこれからを健全に生活し続けられるヒントを見つけられるよう、支え合えるコミュニティーづくりと時代の変化を捉えた実験的な取り組みを積極的に実践していきたいです。

街を楽しむマインドをもっとたくさんの人へ

理事
小林 優太

人がつながる場づくりやコミュニケーションの方法を改めて問い直す機会にもなった2020年の春。リアルに集う場で無意図的かつ自然に起きていた学び合いがいかに尊いものだったかを実感しました。他方で、個々人がオンラインツールでつながることが当たり前になる世界では、自発的な興味関心が一層大切になると思います。私たちはNPO法人として、「好き」も「得意」も様々な人がつながり、互いの変化や成長のきっかけを生み出し続けてきました。十人十色のやり方で“今の社会”の楽しみ方を見つけるマインドを今こそ広めていきたいです。

大ナゴヤ大学サポーター

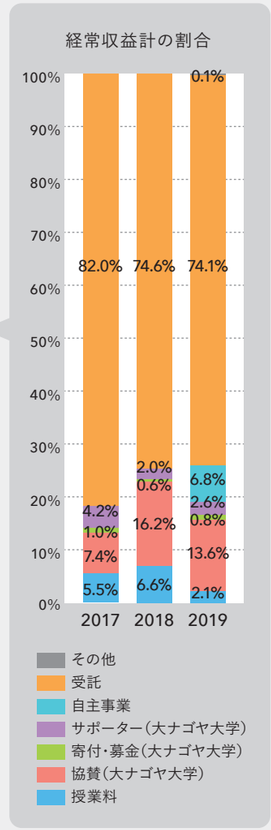
サポーターの皆さんからいただいた寄付金は、事務所家賃・サーバー費・電話代・第2土曜日に開催される授業の講師謝金等に充てさせていただきました。

	2017年度	2018年度	2019年度
月額・年額サポーター	68名	43名	41名
ワンタイムサポーター	0名	1名	1名
受取会費	401,754円	325,330円	373,143円

活動報告

活動計算書（会計期間：2018年4月1日～2019年3月31日）　（単位：円）

		2017年度	2018年度	2019年度
経常収益	①受取会費	501,754	325,330	373,143
	②受取寄付金	118,480	102,172	110,299
	③事業収益	11,395,868	16,053,961	13,988,891
	④その他収益	21	27	8,033
経常収益計		12,016,123	16,481,490	14,480,366
経常費用	①事業費	7,989,426	9,431,021	9,433,843
	②管理費	4,204,893	4,800,156	4,769,147
経常費用計		12,194,319	14,231,177	14,202,990
当期経常増減額		▲ 178,196	2,250,313	277,376
法人税等		68,500	319,000	129,600
当期正味財産増加額		▲ 246,696	1,931,313	147,776
前期繰越正味財産額		3,554,699	3,308,003	5,239,316
次期繰越正味財産額		3,308,003	5,239,316	5,387,092



2019年度の経常収益は14,480千円、経常費用は14,202千円でした。第2土曜日に開催される授業料を開校当初の形式に戻し無料化したこともあり、経常収益は前年度より減少。事務所を使っての授業開催にあたり備品を買いそろえるなど消耗品費が増加し、当期経常増減額277千円となりました。

Dai Nagoya University Network
ANNUAL REPORT
2019

大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク
2019年度活動報告書

Dai Nagoya University Network
ANNUAL REPORT
2019

進行：元木仁美・大野嵩明
編集：小林優太
制作：COUPGUT

特定非営利活動法人 大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク
〒460-0011名古屋市中区大須3-42-30 ALA大須ビル201（事務局所在地）
TEL 070-5459-8213　E-mail dai-nagoya@univnet.jp
dai-nagoya.univnet.jp

copyright© Dai Nagoya University Network 2020. All rights reserved.